

小中学校におけるICT活用のための市町と県の連携した取組について

教育改革・ICT推進対策特別委員会 資料

令和3年(2021年)7月14日

教育委員会事務局幼小中教育課

1 市町立小中学校におけるICT活用の状況

現状（6月時点）

○各市町内の学校におけるGIGAスクール端末の活用状況

ほとんどの学校のほとんどのクラスで日常的に活用しているのは約2割の市町であるが、全ての市町において活用に向けた取組が進められている。

○多くの市町が行っているICT活用

- 教材提示・話合い・振り返りに活用
- 調べ学習で活用
- 写真や動画で記録し、あとで見返しに活用
- 意見交換やプレゼンテーションで活用
- 一人ひとりの学習状況に応じた個別学習での活用

○現時点では全ての教員がGIGAスクール端末を授業等で日常的に活用できるまでには至っていないが、市町においては年度末までに、ほとんどの教員が日常的に活用できることを目指している。

日常的な活用のための視点

【教員の意識・活用能力について】

- 教員のICTを活用する意識に差がある。
- 端末を活用した授業のイメージがつかめず、具体的な活用方法が分からない。

【活用に向けた組織的な取組について】

- 教材研究等に時間がかかる。
- ICT活用のOJTは、まだ始まったばかりである。

【運用面のサポート体制について】

- 児童生徒が端末を持ち帰ることに教員が不安を持っている。
- 常に児童生徒の手元に端末がある状態での活用に不安がある。（トラブルや破損）

【ICT環境の状況について】

- ネットワーク環境による不具合の発生。
- 教員用端末の整備が十分でない。

各視点における取組

○研修等によるICT活用の推進

- 各市町での研修
- 県総合教育センターの研修
- 県教育委員会事務局の研修

○活用のためのサポート体制

- 市町間での交流
- 事例の紹介
- ICT支援員
- GIGAスクールサポーター
- ICT支援室の設置

○ICT環境整備

- 国の補助事業等も活用したICT環境の改善

※次頁参照

本県におけるICT活用の具体例

○個別学習への活用

- 社会科、理科、図画工作科、総合的な学習の時間等で、調べ学習に活用
- ドリルソフトを用いた個別学習に活用
- 生徒用デジタル教科書の活用
- タブレットを持ち帰り、課題をタブレットで提出



○協働学習への活用

- 問題解決にむけて授業支援ソフトを使っての話し合いに活用（社会科歴史的分野の授業で、班での話し合いの結果を共有）
- 算数科の授業で、児童が電子黒板を用いて説明する場面で活用
- 体育科マット運動の学習で、動きの確認に活用



○遠隔教育への活用

- 総合的な学習の時間に介護施設の利用者とオンラインで交流
- 工場等とオンラインでつなぎ社会科見学や環境学習を実施
- 国語科の授業で、学級を越えて作文を発表
- 臨時休業時に、リモート授業を実施
- 自宅待機となった生徒に対する授業動画の配信



学校におけるICT活用を推進する取組のイメージ

研修等によるICT活用の推進

ICT活用研修によるスキルアップ

ICTを活用した授業改善

ICT活用によるスキルアップ

ICTを活用した授業改善

1人1台端末を活用した個別最適な学びや協働的な学びを実現するための指導力の向上

ICT環境整備

活用のためのサポート体制

組織的な展開

2 市町立小中学校におけるICT活用に関する市町と県の取組について

